

〔国際会議発表〕

発表研究者	岐阜大学大学院 医学系研究科 知能イメージ情報分野 産官学連携研究員 村松千左子	2042004
参加会議	Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and biology Society	
出張期間	2014年8月26日～8月31日開催場所	
開催場所	アメリカ合衆国 シカゴ	
発表論文	Detection of cup border points for glaucomatous disc analysis using constrained local model Constrained local model を用いた緑内障性乳頭解析のための陥凹境界点の検出	

概要：

当国際会議は毎年開催され、生体医工学分野では世界最大規模の学会である。大きなテーマの一つとして医用画像撮影法・画像解析があり、例年眼科領域における医用画像解析の分野で著名な先生が中心となり、一連のセッションを設けている。そのため、当該分野における世界トップクラスの研究者が集う最大の国際会議である。当国際会議に参加し、眼科画像解析分野における研究の最新動向を知り、自身の研究成果を発表し、また関係者と意見交換・交流を行って会を盛り上げていくことは、当該研究分野の発展と自分の今後の研究の発展に対して非常に意義が高い。今回は眼科画像解析に特に焦点を当てたセッションは口述セッション2つ、ポスターセッション1つ、特別講演セッション1つの計4セッションあった。口述セッションでは、他の研究グループの研究の進展状況の情報などが得られた。ポスターセッションでは、各発表者から内容について詳しい説明を受け、意見交換などを行い研究のヒントが得られた。受領者はポスター発表を行い、参加者から質問や有用なご意見等を頂けた。今回の特別セッションは、直接画像処理に関する内容ではなく、低コスト眼底カメラの開発という観点から4名が講演後、30分以上延長するほど活発なパネルセッションが設けられ非常に興味深かった。どうすれば低コストで有効な検診が実現でき、病気の早期発見につながるか、またそこに画像解析がどう貢献できるか議論され、研究から実際に世の中の役に立つ製品への展開について改めて考えさせられた。そのほか医用画像処理に関する発表が多数あり、眼底画像に応用可能な技術や手法について学ぶことができ、とても勉強になった。